

主 直 日 誌

2月 1日 (日) 天候 c

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】 デッキ掃除、課業 (機械の役割)

【感想 (一日を振り返り、学んだこと、感じたこと)】

今日はお昼過ぎにデッキ掃除をしました。デッキ掃除をする理由として先生から「台湾を出港した際に煙突から出る煤や雨などで床がざらざらしているのでデッキブラシで擦り汚れを落としたいから」と伝えられました。私はデッキを掃除している時に、船員さんからブラシの使い方について指導されました。自分は最初ブラシでデッキを擦る時にあまり力を入れていませんでした。しかし、船員さんから指導をされてから、デッキブラシに体重をかけて、力を入れながらデッキを擦れるようになりました。デッキを擦る時はみんなで声を出して士気を高めながら頑張って磨きました。午前の課業では機械の役割について学びました。今まで船内の機械で知らなかった機械について色々と知ることができました。今日の一日で僕は、船での掃除の在り方について覚えることができました。当直では油をさした後にウエス (布) で垂れた油をふき取ることでの量を見た時にどれだけ漏れているかを確認できるようにします。そして、当直交代時に、必ず自分の使ったテーブルや通った所を掃除機やモップで掃除をします。機関室では1日だけで8回も掃除をしているという事実と、機関室での掃除という行いが、船を安全に運航する上でどれほど大切だということを学びました。午後の課業では船内にある機械の種類について学びました。私は2年生に進級してから船の機械について学んでいますが、まだ覚えていない機械を今日たくさん覚えることができました。特に、今日一番興味を持った機械は過給機です。過給機とは酸素を多くシリンダー内に取り入れ膨張させる役割を担っています。私はこの機械を今まで名前だけは知っていましたが、役割については分かりませんでした。しかし、今日の課業で、この機械が船においてどれだけ重要か初めて理解できました。船にはこのように重要な機械がたくさんあり、それぞれが大きな役割を担っていて、それを見張るのが機関士の仕事です。私は将来機関士になりたいので、これからももっと機械について勉強し、立派な機関士になりたいです。これからの乗船実習では、目で見て音で聞いて自分の将来に向けて、今しか出来ない経験をしていきたいと思います。

2026年2月1日

デッキ掃除、課業（機械の役割）

